

災害の種類ごとの避難行動

災害から命を守るためには、身近にどんな危険があるのかを理解し、災害時にどのような避難行動をとればよいか日頃から考えておくことが大切です。避難行動は、災害の種類・状況や自分の居場所によってさまざまです。

●地震(津波)



沿岸部で強い揺れまたは長時間のゆっくりとした揺れを感じたら、津波警報や市町村の避難指示を待たず、自主的かつ速やかに避難しましょう。

●水害



夜に大雨が予想されているときは、夕方までに避難しましょう。外に避難する場合は、川や用水路に近づかない、冠水している道は極力通らないようにしましょう。外に避難するのが危険な場合は、建物の高い場所に避難しましょう。避難ルートが安全かどうか、あらかじめハザードマップで確認しておきましょう。

●土砂災害



大雨警報や土砂災害警戒情報が発表された際は、早めに避難しましょう。避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難したり、家の中で崖から離れた部屋や2階など、少しでも安全な場所に移動しましょう。

みずからくん

避難指示が出てても特に何も起きないこともあるよね

みずからちゃん

水から大王

それは間違いだぞ！
早めに避難することで
命を守るのだ！

ハザードマップを確認しましょう

いざという時に円滑に避難できるよう、日頃からハザードマップを確認して、自宅や職場・学校周辺などの災害リスクや、避難場所、経路などを把握しましょう。

国土交通省ハザードマップポータルサイト

全国の防災に役立つ情報を閲覧できるポータルサイトを公開しています。



●重ねるハザードマップ

浸水の恐れがある場所や土砂災害の危険がある場所など、防災に役立つ情報を地図に重ねて表示できるハザードマップです。指定した地点の自然災害リスクをまとめて調べることもできます。

この場所の自然災害リスク

- ▶ 洪水によって想定される浸水深：0.5~3.0m (想定最大規模)
- ▶ 土砂災害の危険性：範囲外又は未整備
- ▶ 地形からわかる災害リスク：扇状地
- ▶ 大規模盛土造成地：範囲外又は未整備
- ▶ 明治期の低湿地：範囲外又は未整備

印刷 ○○県○○市

▲洪水浸水想定区域を地図に重ねて表示

▲自然災害リスクを一括表示

●わがまちハザードマップ

各市町村が作成したハザードマップを、地図や災害種別から簡単に検索し表示することができます。

▲市町村名をクリックするとハザードマップの一覧が表示される

▲市町村が作成したハザードマップを表示

静岡地域・志太榛原地域
大規模氾濫減災協議会

<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/gensai/>



「知る」ことで
命を守る。



災害から自分の命を守るためには、災害に対する心構えや知識、備えが重要です。

- 1 情報入手する方法を知ること
- 2 ハザードマップで避難場所や避難ルートを確認すること
- 3 避難情報の内容と対応を知ること

5段階の警戒レベル

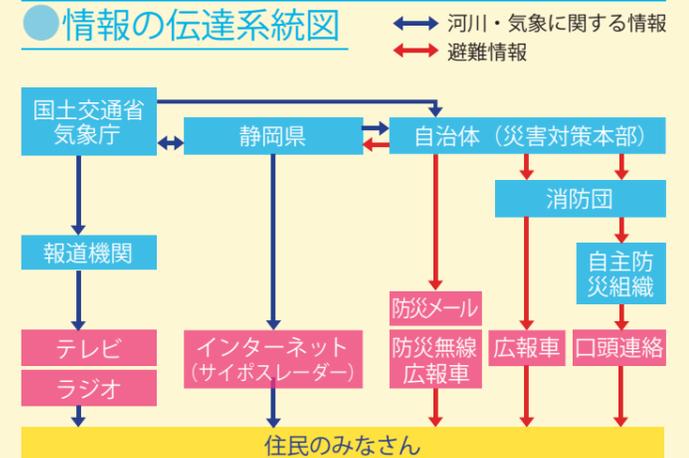
「自らの命は自らが守る」ためにとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記して防災情報がみなさんに伝えられます。自らの判断でその時点で、最善の命を守る行動をとります。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとります。	緊急安全確保 ^{※2} <small>※2 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令(市町村が発令)</small>
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示 ^{※3} <small>※3 地域の状況に応じて緊急又は重要な避難を促す場合に発令(市町村が発令)</small>
警戒レベル3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 ^{※4} <small>(市町村が発令)</small>
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 <small>(気象庁が発表)</small>
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 <small>(気象庁が発表)</small>

※1 各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

避難のための情報入手

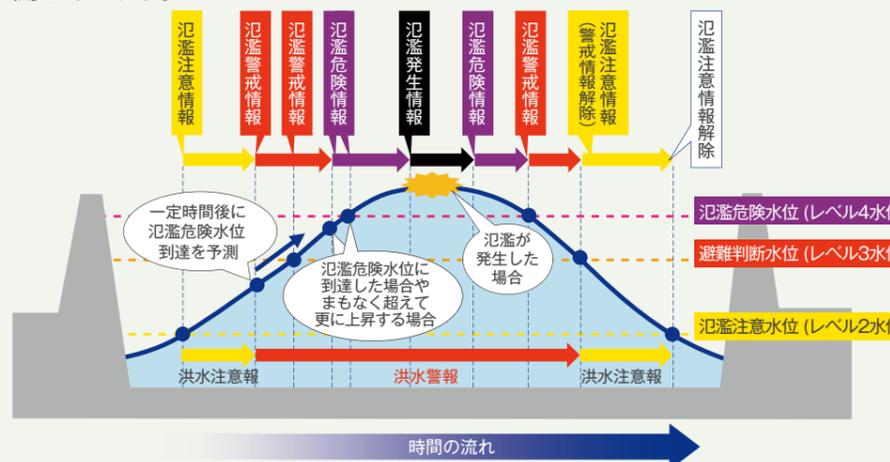
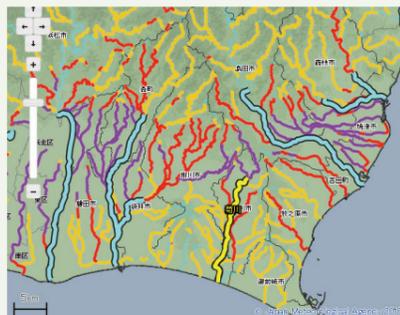
発令された避難情報は、テレビ・ラジオ放送、緊急速報メール、自治体の防災無線・防災メール、役所・消防団の広報車、自主防災組織の口頭連絡などによりみなさんに伝えられます。



気象庁(地方气象台)が提供する情報

●洪水の情報…指定河川洪水予報・洪水警報の危険度分布

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生じる河川(指定河川)について、洪水の恐れがあると認められたときに、氾濫警戒情報や氾濫危険情報などの情報を気象庁と国、県が共同で発表します。また、地図上に洪水害の危険度を5段階で色分け表示した洪水警報の危険度分布を公開しています。



指定河川洪水予報

洪水警報の危険度分布



■指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生じる河川について、洪水の恐れがあると認められたときに発表。

高	氾濫発生情報【警戒レベル5相当】
危険度	氾濫危険情報【警戒レベル4相当】
低	氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】
	氾濫注意情報【警戒レベル2相当】
	発表なし

■洪水害の危険度

高	災害切迫【警戒レベル5相当】
危険度	危険【警戒レベル4相当】
低	警戒【警戒レベル3相当】
	注意【警戒レベル2相当】
	今後の情報等に留意

▲気象庁HPより引用、書き起こし

国土交通省または自治体が提供する情報

●現在地の防災情報…川の防災情報

スマートフォンのGPS機能を活かして現在地の防災情報を確認することができます。国土交通省が提供する防災情報サイトで、全国の国が管理する河川を中心に、雨量・水位などのリアルタイム情報、河川監視カメラの画像を提供しています。



川の防災情報



●緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信と自治体からの防災メール

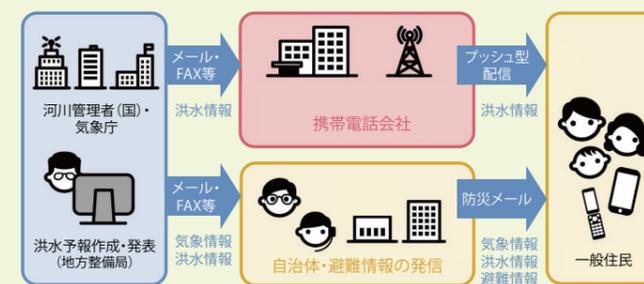
■国土交通省が提供する情報

国土交通省では、国が管理する河川全109水系を対象として、緊急速報メールを活用した洪水情報(河川氾濫のおそれがある(氾濫危険水位に到達した)情報及び河川氾濫が発生した情報)のプッシュ型配信を行っています。

■自治体が提供する情報

一部の自治体では、あらかじめパソコンや携帯電話のメールアドレスを登録しておくことで、気象や防災、防犯に関する情報をメールで受け取ることが出来る住民向け防災情報提供サービスを提供しています。

■自治体防災情報提供サービス(静岡地方気象台)
<https://www.data.jma.go.jp/shizuoka/shosai/jichitai/jichitai.html>



▲洪水情報のプッシュ型配信(※)と自治体からの防災メールイメージ
※プッシュ型配信とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。

一般財団法人河川情報センターが提供する情報

●川の水位情報

近年設置が進んでいる新しい危機管理型水位計の情報を提供しています。『川の防災情報』で提供されている通常水位計の情報も確認でき、リアルタイムの河川水位や河川状況を河川カメラの画像からを見ることができます。

■川の水位情報
<https://k.river.go.jp>

川の水位情報



静岡県が提供する情報

●県内の防災気象情報…サイポスレーダー

静岡県内の雨量・県管理の河川水位などの観測情報のほか、アメダスなどの気象情報、注意報・警報などの防災情報も提供しています。

- 1 サイポスレーダートップページ
- 2 気象警報・注意報
- 3 静岡県内の雨量情報



サイポスレーダー



●静岡県総合防災アプリ 静岡県防災

豪雨等による災害発生前の避難行動を促す各種緊急情報の通知をはじめ、平常時の災害への備えとして、ハザードマップの確認、防災知識の習得や避難トレーニングなど、災害から命を守るために、役立つ機能を幅広く備えた総合防災アプリです。



静岡県防災



地上デジタルテレビ放送が提供する情報

●テレビリモコンのdボタンを押して、より身近に情報を入手!

地上デジタルテレビ放送のデータ放送で河川や気象の情報が閲覧できます。リモコンのdボタンを押し、上下左右ボタンでメニューを選択することで、地域の河川の水位情報や雨量の情報が表示されます。詳しい閲覧方法は下のリンクをご覧ください。

■地上デジタル放送による河川情報の提供について(国土交通省)

